

**15th
GLEE CLUB
CONCERT**

OSAKA UNIVERSITY OF FOREIGN STUDIES

PROGRAMME

Gaigo will shine tonight

Varsity

大阪外国语大学校歌

I 男声合唱組曲「朔太郎の四つの詩」 詩 萩原朔太郎 曲 清水脩 指揮 山下均

I 五月の貴公子

II 孤独

III 陽春

IV 緑色の笛

II 男声合唱組曲「人間の歌」 詩 堀口大学 曲 多田武彦 指揮 葉山英行

I 縫いつける

II 涙の塩

III 浜の足跡

IV また一つ

V 木がらし

VI 年の別れ

=Intermission=

III Negro Spirituals

指揮 葉山英行

第I部

My Souls Been Anchored in the Lord

Ride the Chariot

Dig My Grave

Jerusalem Morning

I Got Shoes

Dry Bones

第II部

Were You There?

Wade in de Water

テナーソロ 藤原克司

Deep River

堀田光行

The Battle of Jericho

バリトンソロ 岡本精二

This Ol' Hummer

竹尾彰

Didn't My Lord Deliver Dannie?

ベースソロ 西森誠

Soon Ah Will Be Done

ナレーション 八木哲夫

GAIGO WILL SHINE TONIGHT

Gaigo will shine tonight, Gaigo will shine !

Gaigo will shine tonight all down the line !

Gaigo will shine tonight, don't they look fine !

When the sun goes down and the moon comes up

Gaigo will shine, Gaigo will shine !

VARSITY

Varsity ! Varsity !

Osaka Gaikokugo Daigaku !

Praise to thee we sing

Praise to thee our alma mater

U, rah, rah, Osaka Gaidai !



CLUB MEMBER

顧問	問	住田照夫	部長	内海卓也	副部長	八木哲夫	渉内マネージャー	田中 充
会計	計	西森 誠	指揮者	葉山英行	副指揮者	山下 均	渉外マネージャー	神田 長

First Tenor

○藤原克司	R ₄ (岡山天城)	加藤直樹	S ₃ (小倉)	○岡本精二	E ₄ (神戸)	○内海卓也	A ₃ (東舞鶴)
山下 均	S ₃ (兵庫三原)	○山本修司	E ₄ (茨木)	竹尾 彰	IN ₄ (西南学院)	葉山英行	E ₄ (島田)
田中 充	E ₃ (大阪星光)	神田 長	E ₃ (岐阜)	後藤久義	K ₄ (大分杵築)	西森 誠	S ₃ (土佐)
堀田光行	K ₂ (大分杵築)	久山 耕	E ₂ (岡山西大寺)	葉山峰治	E ₃ (追手門)	八木哲夫	E ₃ (朱雀)
池田民樹	M ₁ (長野)	川崎博康	IP ₂ (兵庫長田)	坂田憲治	P ₃ (佐世保南)	前田一仁	R ₁ (天王寺)
天野卓也	IP ₁ (三国丘)	古川澄夫	R ₁ (新津)	足立明洋	S ₂ (西宮東)	橋本和直	S ₁ (岩内)
藤田 勉	M ₁ (布施)	松本 博	T ₁ (八幡)	堅田和彦	K ₁ (鳳)		

○印はパートリーダー

A (アラビア語)

M (モンゴル語)

E (英語)

P (ペルシャ語)

IN (インドネシア語)

R (ロシア語)

IP (イングリッシュ語)

S (スペイン語)

K (朝鮮語)

T (タイ語)

曲目解説

I 五月の貴公子

若草の上をあるいてゐるとき
わたしの靴は白い足あとをのこしてゆく
ほそいすて、きの銀が草でみがかれ
まるめてぬい手ぶくろが宙でおどって居る
ああすっぽりといっさいの憂愁をなげだして
わたしは柔和の羊になりたい
しつとりとした貴女のくびに手をかけて
あたらしいあやめおしおいのほひをかいで居たい
若くさの上をあるいてゐるとき
わたしは五月の貴公子である。

詩 萩原朔太郎

II 孤 独

田舎の白っぽい道ばたで
つがれた馬のこころが
ひからびた日向の草をみつめてゐる
ななめに しののとほそくもえる
ふるへるさびしい草をみつめる。
田舎のさびしい日向に立って
おまへはなにを覗てゐるのか
ふるへる わたしの孤独のたまひよ。
このほこりっぽい風景の顔に
うすく涙がながれてゐる。

III 陽 春

ああ 春は遠くからけぶって来る
ぱっくりふくらん柳の芽のしたに
やさしくちびるをさしよせ
をためのくちづけを吸ひこみたさに
春は遠くからごむ輪のくるまに乗って来る
ぱんやりした景色のなかで
白いくるまやさんの足はいそげども
ゆくゆく車輪がさかさまはま
しだいに俺棒が地面をはなれ出し
おまけにお客さまの腰がへんにふらふらとして
これではとまでもあんなさうなと
とんでもない時に春がまっしろの欠伸をする。

IV 緑色の笛

この黄昏の野原のなかを
耳のながい象たちがぞろりぞろりと歩いてゐる。
黄色い夕日が風にゆらいで
あちこちに帽子のやうな草っぱがひらひらする。
さびしいですか お嬢さん！
ここに小さな笛があつて その音色は澄んだ縁です。
やさしく歌口をお吹きなさい
とうめいなる空にふるへて
あなたの蜃気楼をよびよせなさい
思慕のはるかな海の方から
ひとつ幻像がしだいにちかづいてくるやうだ。
それはくびのない猫のやうで 墓場の草影にふらふらする
いっそこんな悲しい暮景の中で 私は死んでしまいたいのです。
お嬢さん！

組曲「人間の歌」

作曲者多田武彦は、京大在学中、京大男声合唱団の指揮者を務めたことがあり、それだけに男声合唱に対する作品も多く、その獨得のハーモニーを持った作品は多くの大学のグリーに喜ばれ演奏されている。作詞者堀口大学は、1892年東京に生まれ慶大に学んだ。後、父と共にメキシコに赴き10年余を過ごす。帰国後、詩集「月光とビエロ」など、新感覚と機智に富む技巧的な詩を発表している。組曲「人間の歌」に於て、多田武彦は彼獨得の男声合唱以外では表現し得ない美しいハーモニーと抒情的で繊維なメロディーの中に、堀口大学の詩の持つ響きを歌っている。「浜の足跡」で、夕暮れの浜辺に打ち寄せる波の寂しさを表わし、「また一つ」に於ては、もの憂げなハミングを背景におそろしいほどの暗さが流れる。そして師走に吹き抜ける木枯しを冷酷なまでのタッチで描いた「木枯し」のあとで、すてられた哀れな女になぞらえて、切々と去りゆく年の悲しさを歌った「年の別れ」で、この組曲は終る。

Negro Spirituals

第Ⅰ部

My Souls Been Anchored in de Lord

曲目の示す通り「我が心は主の御許においてのみ安らぐ」とテナーソロとバックコーラスによる応答歌形式の中で、信仰の念は次第に高揚してゆき、文字通りIn de Lordとfffで曲は終ります。この曲もRide the Chariotと同じく、スピリチュアルの初期的形態である応答歌形式をとっており、ソリストとバックコーラスのからみ合いに一つの面白味があじわえます。

Ride the Chariot

「さあ、みんな、幌馬車に乗ろう！ 馬車にゆられて、イエス様の許へ行こう！」と現世の苦しみからの離脱と救済への願いが軽妙なリズムとデュエットソロによって唱われています。

Dig My Grave

やっとのこと死の床につけたという深い安堵が重厚なハーモニーで表わされています。このように和音を基調とした宗教的色彩の濃い曲はスピリチュアルには他に例を多く見ず特異なものと言えると思われます。

Jerusalem Morning

バリトンソロによるイントロは苦しい望みなき生活を送っていた黒人達に、さあ今こそ主の声に耳を傾けよと暗示し、それに答えるべくバックコーラスが応答歌形式(Call and Response)でイエスの声に答えてゆくというニグロスピリチュアルの最も基本的な形をとっています。バリトンソロ、テナーソロは説教者の呼びかけとして、またバックコーラスは会衆の応答として理解できるのです。

事務用品専門店

有限会社

橋本事務用品商事

大阪市天王寺・上本町7-67
TEL.772-3454～5
779-2454

中華料理

春陽軒

上六商店街
TEL. 771-4173

大学受験の権威!!

夕陽予備校

大阪市天王寺区堀越町6-3
〒543 TEL. 771-4803-4452

麻雀

大 和

近鉄上六駅前西上ル
TEL.771-9382

I Got Shoes

スピリチュアルには珍らしく、軽快で明るい曲です。神の御許、現世の苦役のない来世にいた時の喜びを唄いあげています。このようにtempoの比較的はやい曲においては英語の子音のもつ面白味が加わり、母音をclearに押し出すことによって子音は活き活きとし、そこに軽妙なリズム感が生まれてきます。

Dry Bones

古くから黒人達の間で歌われてきたスピリチュアルの一つで、コーラスナンバーとして日本でもよく知られています。この歌の内容は、旧約聖書中の「エゼキエル書」に基づいたものです。予言者エゼキエルはB.C500年代に実在した人物で聖書によれば、彼はよく幻を見たということです。この曲は37章の「枯骨の谷」の幻が題材になっています。谷底にバラバラになつて散らばっている骨がカタカタと音を立てながら順番にくつづいてゆく光景を歌っています。しかし奇蹟の不思議さをドラマチックに表現するのではなく骨の名を一つずつ淡々と並べ上げてゆくところにこの歌の面白味があります。

第Ⅱ部

Were You There ?

この世のいかなる惨苦も、主が十字架に掛けられ、手に釘を打たれ、横腹を槍で突き刺された苦悩より勝るものはない。格調高い名曲です。

Wade In the Water

アメリカ南部と北部をしきるように流れるミズリー、彼らは、それを主の賜わった試練の河、ヨルダン河と考えたのでした。北部へ、約束の土地イスラエルへと彼らの願いは、この歌の中では、この神の賜うた試練を静かに受けとめようという強い決意がみられます。クレッシャンド、ディクレッシャンド、これほど効果的に用いられている曲は、多くのスピリチュアルの中でも例は少ないと思われます。

Deep River

スピリチュアルの名曲中の名曲です。——「深い河、おお主よ、私は河を越えてあんなつかしい土地に行きたい。ヨルダン河の彼方にある私の家に……」と歌われるもので、彼らはミズリー川を聖書のヨルダン川になぞらえて歌ったものと思われます。数知れぬ多くの黒人達はミズリー越えを計り、ほとんどの者は捕えられ、たとえ白人の手からのがれえてもミズリーの水の中に消えていったと伝えられています。ヨルダン川の彼方、ミズリーの彼方に約束されている自由と幸福を求める悲痛な心情が格調高い調べの中にあふれている珠玉の名曲です。

The Battle of Jericho

ヨシュアがジェリコの戦いに勝ったという故事をもとにした靈歌です。戦いの激しさを物語るかの如き激しいリズムで貴られている名曲です。

This Ol' Hummer

鉄道建設に使われた黒人奴隸の残したWork Song(労働歌謡)の一つです。詩にあるJohn Henryは、実在の人物で異常な力を持ちであったそうです。

Didn't My Lord Deliver Daniel ?

神がダニエルをライオンの檻から、救い出したという旧約聖書中の物語をもとにした歌です。シンコペーションを用いてはいるが、安定したリズムで中間部まで導かれ、神はダニエルをお救いになった。従って我々もお救い下さるだろうという強い確信と、願望が、中間部のセカンドテナーのパートソロによって導かれて曲に次第に高揚してゆきます。

Soon Ah Will Be Done

一刻も早く天国へ行って神と共に暮したいという余りにも強い願望が機関銃を打つ様な極めて激しいリズムによって表現されています。特に願いが高揚してゆく中間部においては、それぞれのパートが独立した旋律を持ち、ポリフォニックな面白さがみられます。The Battle of Jerichoと同じくこのような激しいリズムを基調とした曲はスピリチュアルの本流をなすもので、おそらく黒人達は、現代で言うShout唱法の如き激しい叫びの中で一抹の現世の苦しみの離脱感の中に安らぎを見出していたのでしょう。

日本観光旅館連盟加盟店 大阪市観光旅館協会員 吉野旅館 天王寺区上本町8丁目バス停前 TEL.771-4164・6663・6421	学校法人 日本予備校 冬期講習会 12月19日～12月29日 天王寺区東高津町14番地 TEL.762-1971～2・2838	北京料理なら 南海飯店 上六店 上六中通り西入る 771-4185 船場店 261-2643 難波店 641-7774 新川店 631-2974	すき焼 お好み焼専門 幸 あけの 771-6121 771-2385 上六近鉄会館西半丁
--	---	---	--

アサヒビール ミニセミナリ 南店
小人数から大人数まで——只今ご予約受付中

温かいビヤホールで飲む生ビールの味はまた格別。
ミュンヘンの一階ビヤホールは春の温かさです。
ムードは今評判の4チャンネルステレオが演出しています。

南店・ナンバ戎橋南へ50m東入る ご予約はTEL.211-4051(代)

少人数・小教室採用だからできる個々に滲透する完璧指導

無試験先願順 難波予備校
国公立大学 文科系
私立大学 理科系 開講 4月20日
入学案内書手元 100円

大阪市浪速区新川2-666
〒556 TEL. 632-7772~3 地下鉄なんば下車3分。
大阪球場西側50m南入る。

あなた自身のデザインをお楽しみ下さい。

司屋 株式会社

ステージコート
制 服
逃 洋 服

天満橋店 大阪マーチャンダイズマートビル11階 TEL.943-3100
梅田店 阪急三番街 プラザ劇場北 TEL.372-2420

大学受験 天王寺予備校
英仏中会話 天王寺英語学院

学校法人 天王寺学館
理事長・学館長 早原瑛
大阪市阿倍野区松崎町2丁目 TEL.621-1881~3

青少年会館文化ホール
日時 1971年12月17日
開演 P.M. 6:30

指揮者の言葉 山下 均

男声合唱曲「朔太郎の四つの詩」は、清水修氏が萩原朔太郎の詩に曲付けされた四曲から成る組曲です。萩原朔太郎は大正期を中心として日本文化の近代化の時期に生き、大正文化の華やかな高踏的ダンディズムを存分に発揮した詩人でした。彼の詩には病的に繊細な感受性が託されており、独特な雰囲気がかもし出されています。各曲有機的な関連性はありませんが、各々朔太郎独自の繊細さと言葉の持つリズムを生かし、詩と渾然一体となって流れでる美しいメロディーとニュアンスに富んだハーモニー、柔らかなレガートと大胆なフォルテとユニゾンなどが見事に織りなされた名曲です。エロティックな青春の憂愁と生の讃歌、意志のない寂寥、時計のように進行するリズム、機微に富んだハーモニーと巾広いハーモニー等、各曲異なった面から曲をとらえてみましたが全体として詩の情操を生かした自然な曲の流れに重点をおいてみました。

葉山 英行

昨今の演奏会に行く機会を持たれた方には我が大阪外大グリークラブのステージは奇異に映るかもしれない。私が全曲目中、約半数に当る黒人靈歌を取り上げたのは、クラブ再建後、定期演奏会が15回目に当るという理由からだけではない。

確かに今までの演奏会に於ける外大ニグロ（靈歌）は一応の好評を博し、又部員も長き伝統を踏まえて、伸々とそれを歌ってきたのである。だが、黒人靈歌を歌う際の感情移入のし易さ故に、また歌いつがれた伝統故の取り組み易さが故に、ともすれば、曲に流され、靈歌特有のリズムにおぼれがちであったことは否めない。すでに靈歌を外大流に歌いこなしいわゆる外大ニグロと言われる現在、伝統というものを改めて、突き離して把える必要があると思われる。そのような意味で今年は、あらゆる形式の靈歌を採りあげると同時に、全体として3ステージに絞り、靈歌を堀り下げることに全力を傾倒してきたのである。

二十数人という部員構成の持つ限界をどれほど乗り越えうるかという課題が靈歌の本質に迫りうる一つの試金石でもあった。

黒人靈歌について

アメリカ植民地を開拓する労働力補給の為アフリカ各地から奴隸として、連れてこられた黒人達が、白人より教わったキリスト教の神の恵みに感激し、圧迫され、束縛された奴隸生活の中にも、一条の光を見い出して、歌った靈魂の歌が黒人靈歌Negro Spiritualsです。

黒人靈歌は、純粹にアメリカニグロの創造物であり、その詩は多く旧約聖書より採られ、アフリカ原始音楽のリズムを根底とした強烈なビートが第一の特徴です。今日の靈歌が、モダンジャズ、R&Bの源流と異なるゆえんです。靈歌の面白味という面から考えれば、まさしく、シンコペーションを多用した、動きの豊かなリズムにつきると思われます。

特にリズムを基調とした曲については、英語という言語の持つ特質が十二分に生かされ、おそらく靈歌を邦訳で歌うならば、その面白味は半減することでしょう。

ごあいさつ

今宵はお忙しい中を御来場下さいまして、有難うございます。本日ここに第15回定期演奏会を開催する運びとなりました。これも、ひとえに皆様方並びに各方面の方々のあたたかい御支援のおかげと、私達部員一同心よりお礼申し上げます。

私達グリークラブは、これまで毎年「黒人靈歌」をとり上げてきましたが、本年は、15回目の定期演奏会でもあるということで、1年間「黒人靈歌」に重点を置いて、練習して参りました。私達はこの1年間かかって築きあげた力を本日、すべて出しきって、精一杯歌います。技術的にも、まだ未熟な演奏ですが、どうぞ最後までごゆっくり御鑑賞の上、率直なる御批判、御鞭撻を賜りますよう、お願い致します。

外大グリークラブのプロフィール

大阪外国語大学グリー・クラブの創立は昭和初年にさかのぼります。以後、大戦のため活動が中止されることもありましたが戦後まもなく再興され定期演奏会の開催も今回で十五回となりましたが、他の社会人合唱団や大学合唱団の例にもれず外大グリーも部員の減少と、それに伴う合唱レベルの低下に悩んでおります。Bass 5名、Baritone 7名、Second Tenor 6名、Top Tenor 7名の編成は男声合唱の魅力たるあの重厚なハーモニーを作り出すには、少々さびしいと言わざるを得ません。合唱の衰退という全国的傾向に関しては多くの人達が様々な立場で語っておられます。自分達自身の合唱の衰退を眼前にした私達は「全国的傾向」を語る余裕もなく外大グリーの衰退の原因のみを考えることで手いっぱいでした。各人はそれに対し自分なりの解決策を示しながら、あるいは疑問形のままにこの一生を今夜に向けて駆け抜けてきたようです。今宵十数曲にわたってお聞きいただく Negro Spirituals も、もう一度伝統をかみしめることによって沈滯を打ち破ろうとする私達の答の一つとお考え下さい。

大阪外国語大学 グリークラブ